

衆議院法務委員会ニュース

平成 28.10.26 第 192 回国会第 5 号

10月26日(水)、第5回の委員会が開かれました。

1 裁判官の報酬等に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第12号)

検察官の俸給等に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第13号)

裁判官の育児休業に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出第14号)

- ・金田法務大臣、横皇内閣法制局長官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

山 尾 志桜里君(民進)

- ・本年9月に内閣法制局が作成した、「憲法関係答弁例集(第9条・憲法解釈関係)」に掲載されている各論点に対する見解は、政府見解であるのか、内閣法制局長官に伺いたい。
- ・平成19年新司法試験短答式試験公法系科目第13問のウの設問の正答に関する疑義について、現時点でどのように考えているのか、法務大臣に伺いたい。
- ・司法試験で出された問題に関して、問題文や正答に疑義を申し出る手続について、法務大臣に伺いたい。

吉 田 宣 弘君(公明)

- ・新人弁護士の平均年収について、法務省が調査した平成27年の金額及び法曹の養成に関するフォーラムが調査した平成22年の金額を伺いたい。
- ・法曹三者の社会における役割の重要性を踏まえた人材確保の在り方についての法務大臣の見解を伺いたい。
- ・裁判官・検察官の個々の状況に応じたきめ細やかな仕事と生活の両立支援に取り組むことが必要だと考えているが、法務大臣の見解を伺いたい。

今 野 智 博君(自民)

- ・裁判官及び検察官については、裁判員裁判の開始等により負担が増したのではないと思うが、その勤務の実態について、伺いたい。
- ・裁判官や検察官は、業務のために夜間や休日に勤務することが多いと思うが、超過勤務手当、休日給及び夜勤手当が支給されない理由を伺いたい。

逢 坂 誠 二君(民進)

- ・刑務官の在職者のいびつな年齢構成を踏まえると、矯正施設の適正な運営に将来、支障を来すおそれがあると考

えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

- ・沖縄において機動隊員が差別的発言を行った事案の発生を受け、その他の不適切発言の有無の調査や警察官による不適切発言を予防するために警察の職務が強制力を伴ったものであることを認識させる指導を徹底的に行うべきと考えるが、警察庁の見解を伺いたい。
- ・TPP協定による国民生活への影響が不明確なまま、同協定締結を承認することは政治家として無責任な判断だと思うが、法務大臣の見解を伺いたい。

藤 野 保 史君(共産)

- ・来年度の概算要求において、17年ぶりに法務局の定員の増員を要求しているが、この要求の実現に向けての法務大臣の決意を伺いたい。
- ・平成26年7月に閣議決定された「国の行政機関の機構・定員管理に関する方針」に基づいて、法務省が定員合理化目標数としている4,843人の積算根拠について、法務大臣に伺いたい。
- ・ただでさえ低い裁判所所管歳出予算の国家予算に占める割合が昭和40年度から半減している現状に鑑み、今後これを拡充すべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

木 下 智 彦君(維新)

- ・本年の人事院勧告のために行われている民間給与の実態調査における、対象事業所(母集団事業所)及び実地調査を行った標本事業所の、国内の全事業所に占める割合はそれぞれ何パーセントか、伺いたい。
- ・裁判官の報酬及び検察官の俸給を一般の政府職員の給与に準じて改定するのではなく、裁判官や検察官の報酬等については、その在り方から国会で議論し、検討していくべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。